

言語活動の充実に関する実践事例

学校名（東広島市立高屋中学校）

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 話題を設定し材料を集めて、効果的に話そう
「テレビ番組を作ろう ―世界一受けてみたい授業―」
- ④ 本時の目標 聞き手に分かりやすく説明するための効果的な説明の仕方、資料の示し方について考えることができる。 【A話すこと・聞くこと ウ】
- ⑤ 学習の流れ（7時間目／全9時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の学習目標を確認する。 2 学習課題を設定する。	①よりよい番組を作るために会議を行うことを確認させる。 ②本時の見通しをもてるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">番組制作会議</div> でより分かりやすい内容にしよう	
3 VTR・番組構成表を基に番組の内容を検討する。 ・聞き手による評価を基に自分たちの提案の内容を修正する。	③修正の視点をもたせる。 ・聞き手の評価は言語活動の目的に即した観点(「分かりやすいか」)とする。 ④修正の方法を考えさせる。 ・話し方や話す内容、資料の提示の仕方、といった提案の課題を修正することを通して見付けさせる。 ・番組構成表に付箋を貼ったり、VTRを繰り返し再生したりしながら修正箇所を具体的に指摘させることで、修正の内容が抽象的で漠然としたものにならないようにさせる。	
4 修正した内容を交流する。		
5 授業を振り返り、自己評価カードを記入する。 ・ワークシートと自己評価カードを提出する。 ・次回の学習内容を確認する。	⑤効果的な説明の仕方、資料の示し方について考えたことなどを書かせる。	・分かりやすく説明するために、機器などの使い方、資料での図表や写真の活用方法について、修正の方法を考えている。〔話す・聞く能力〕(ワークシート)

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 調べて分かったことを、聞き手に理解してもらえるように工夫しながら説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 情報収集の際は、文章の中で必要だと思った部分に印を付したり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進める、一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなどの様々な読み方を取り入れる。
- 番組構成表に付箋紙を貼ったり、VTRを繰り返し再生したりすることで修正箇所を具体的に指摘させる。
- 作成スライドをもとに、修正内容を説明させる。